

## 職員による自己評価

## A環境面

・除菌・消毒・換気は特に気を付けて行っていたが、子ども同士の適切な距離を保つことが難しかった

## B児童への支援内容

・個別療育を取り入れ、その子の発達段階に応じた活動に楽しく取り組む事ができた  
・一方で、活動の幅を広げることは難しかった

## C関係機関との連携

・関係機関との連携については、その方法や内容についての知識が不足していると感じる  
・保護者ならの要望に応じて、保育園訪問を行った

## D保護者への説明責任・信頼関係

・個別に細かく連絡を取り合っている

## E非常対応

・コロナへの対応は大変だったが、出来る限りの対応を行った

## 保護者による評価

## A環境面

・誰がどんな資格を持っているのか、どのような専門知識を持っているのかが、わからない  
・荷物置き場が狭いと子どもが言っている

## B児童への支援内容

・子どもが利用を楽しみにしている  
・家庭では中々させてあげられない事をさせてもらっている

## C事業所からの情報発信

・必要に応じて、メールでお知らせがくるが、写真などのSNSでの情報開示は未対応

## D非常対応

・発熱や学校で濃厚接触が出た場合の放デイの利用についての説明や基準がわかりやすかった

## 事業所内での分析

## 【共通点】

・コロナ禍における、除菌・消毒・換気等、施設での対応について細かく情報を発信し、安心して利用して頂くことができた  
・子どもが利用を楽しみにしている。好きな事を通して、楽しく気持ちが安定して過ごせている

## 【相違点】

・スタッフの専門性や保有資格についての情報提供の必要性に対する認識が不十分だった

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・ 保護者との信頼関係
- ・ 個別に療育が必要と思われる子どもへの発達段階に応じた適切な療育
- ・ 子どもの安全・安心な居場所になっている
- ・ 有事における、適切な情報発信

### 事業所の改善点

- ・ 関係機関との連携にあり方について、保護者の要望を踏まえたうえで、どのような機関とどのような連携が可能か、検討する
- ・ SNS の利用について、保護者の要望を聞き取り、活用の必要性についての検討が必要
- ・ マスクを外してしまう子どもに対する声掛けや対応

### 事業所の改善への取り組み

- ・ 避難訓練のマニュアルを適宜更新し、有事に備えるとともに、回数や内容についても再度検討する。また、その様子や内容について、保護者にどの様に伝えるのが良いか、も併せて検討する。
- ・ 保護者との個別のやりとりにについては、きめ細かく対応しているが、広報やお便りなど、全体の様子についての報告方法や回数、内容などについては、保護者の要望を把握し、必要に応じて対応していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナでの休園や休校、またテレワークでの在宅勤務など子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、「今まで通り通える居場所」が子どもだけでなく、保護者にとってもいかに重要であったかを感じました。今後も安心して利用してもらえるよう、アンケートで明らかになった改善点への取り組みをしっかりと行いたいと思います。

事業所名 ルルちいさいおうち

担当者 渡部 淳子